

あなたならどうする？ 不定愁訴ケーススタディ —再現VTRから学ぶ—

日時 2016.2.19 (金) 11:10～12:10

会場 軽井沢プリンスホテル ウェスト 第3会場 (浅間C・D)

座長



島崎 潤 先生
(東京歯科大学市川総合病院)

我々が日常診療において治療に苦慮するケースの1つとして‘不定愁訴’があげられます。他覚所見が乏しいにもかかわらず自覚症状を訴える患者を先生方も経験されたことがあるのではないのでしょうか。また、医師側が所見の改善に満足していても患者側は十分に満足していないということも少なくありません。このような‘不定愁訴’を解決するための情報の多くは、丁寧な問診から得られるのではないかと考えます。そこで今回は、ケーススタディシリーズの続編として、問診場面の再現VTRを使って治療のヒントを探していきたいと思えます。

横井則彦先生をコメンテーターとしてお招きし、東原尚代先生、有田玲子先生、井上康先生より、実際に日常診療で困った症例や注意すべき症例を持ち寄って解説いただきます。ご参加の先生方にも、日々の診療と重ね合わせて一緒に症例検討をしていただきたいと思います。本セミナーがさまざまな場面での不定愁訴解決への一助となれば幸いです。多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

コメンテーター



横井 則彦 先生
(京都府立医科大学)

パネリスト



東原 尚代 先生
(ひがしはら内科眼科クリニック)

パネリスト



有田 玲子 先生
(伊藤医院)

パネリスト



井上 康 先生
(井上眼科)